

令和 4 年 6 月 2 日現在

機関番号：34310

研究種目：新学術領域研究（研究領域提案型）

研究期間：2016～2020

課題番号：16H06406

研究課題名（和文）学校教育現場における無気力の規定因の解明：家庭環境と友人関係に着目した縦断的検討

研究課題名（英文）The examination of risk factor for amotivation in the classroom: Longitudinal study focusing on family environment and relationship with peers

研究代表者

田中 あゆみ（Tanaka, Ayumi）

同志社大学・心理学部・教授

研究者番号：00373085

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 89,460,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、無気力の規定因の解明と意志力向上のための方法を、家庭環境と友人関係との関わりで探ることを目指し、成果を得ることができている。主な例として、第一に、家庭の社会経済的地位を簡便に測定できる家庭の所有物に関する尺度や、短縮版児童用不安尺度の日本語版を新たに作成した。第二に、中学生の親子を対象とした調査から、知能に関する考え方の親子間の影響と子どもの抑うつ傾向との関連を明らかにした。第三に、スローエアロビクスという軽運動を短時間行うことで、教室でのモチベーションの指標の一部に向上効果を見出した。これらの成果は全て論文として国内外の専門誌に発表したものである。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究から、子どもたちの意志力を向上させる鍵として、親のモチベーションや子どもとの関わり方の重要性を明らかにすることができ、家族を対象とした具体的な介入の道筋が見えてきた。さらに、身体活動の増加が教室における意志力に直接関わることをはじめて明らかにした点は学術的・社会的に意義があり、神経科学、精神医学、スポーツ科学などの最新の研究が一体となる新学術領域研究の主要な成果といえる。

研究成果の概要（英文）：The present research project aimed to examine the mechanism of the loss of willpower and how we can support it, by focusing on home environment and peer relationship. The results we have obtained so far are as follows. First, we have newly developed short scale to measure socio-economic status of the family and Japanese Short version of the Spence Children's Anxiety Scale. Second, we have found the intergenerational relationship of parents' and adolescents' motivational beliefs and their influence on depressive symptoms of adolescents. Third, we have shown the effect of low-intensity aerobic exercise on the part of the measures of motivation in the classroom. These results were published in Japanese and international journal and have all been well-cited by other researchers.

研究分野：教育心理学

キーワード：意志力 モチベーション 無気力

様式 C-19、F-19-1、Z-19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

子どもたちの健やかな成長や生き生きとした生活を支援することが、少子高齢化のすすむ現代の社会におけるもっとも重要な課題の1つであると考えられる中で、研究開始当初、日本の2014年度の不登校の小学生は25,844人、中学生は96,789人にのぼり、2012年度以来増加の一途をたどっていた(平成28年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」)。不登校の本人に関わるきっかけとして無気力をあげる割合は不安について高く(文部科学省, 2015)、また、子どもの抑うつの問題も注目をされるようになっていた。ここから、無気力に対する支援が重要であると考えられた。

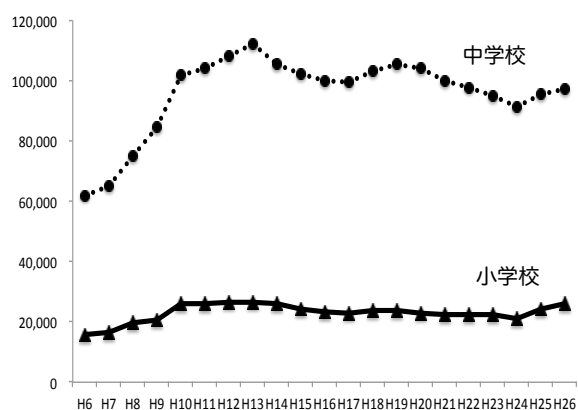


図1. 不登校児童生徒数の推移
(文部科学省, 2015年9月)

2. 研究の目的

本研究の目的は、学校教育現場における無気力の規定因を解明することであった。具体的には、新学術領域内の研究グループと連携をしながら、睡眠・食事・運動習慣の調査や生理指標の測定を行い、無気力との関連を検討すること、家庭環境や友人関係という他の研究グループでは扱うことのないマクロな要因の影響を検討すること、さらに、無気力に対する支援・介入の方法を検討することで領域の推進に貢献することを目的とした。

3. 研究の方法

主要な5つの研究とその方法を次に示す。

研究1. 無気力の規定因の多面的検討と親子間の影響の検討

方法 日本能率協会総合研究所に登録する全国のモニターから、中学生とその親を対象として2回の縦断調査を実施。第一縦断調査は中学生とその親1,000組を対象に2017年3月と2018年3月に実施。第二縦断調査は中学生とその母親約800組に対して2019年10月と2020年2月に実施。

第一調査の調査項目は、抑うつやストレス反応など、無気力を測定する変数、無気力の規定因の候補となる睡眠・食事・運動などの生活習慣、基本的心理的欲求充足や達成目標、知能観などのヒューマン・モチベーション変数、養育態度や親子関係に関連する変数、対象者の属性に関する質問で構成。第二調査は、第一調査で得られた主要な結果を追試する目的で、第一調査の項目の一部を使用。

研究 2. 学校教育現場における無気力の規定因の解明

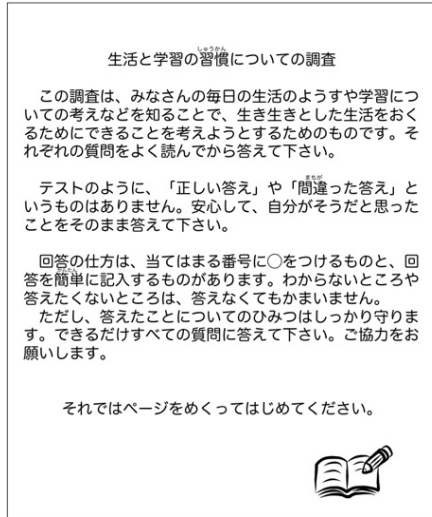


図 2. 研究 2 で使用した質問紙の一部

方法 小学 5 年生から中学 3 年生までを対象として、2017 年から年に一度、4 年間の縦断調査を実施（図 2 も参照）。北海道・東北、近畿、四国地域の小学校 17 校、中学校 8 校、小中一貫校 1 校からの承諾を得た。

調査項目として、学校での無気力傾向を調べるために、学校での幸福感、抑うつ、不安症状、不登校傾向を測定。無気力に影響を与える第一の要因として、学習意欲の影響を検討。特に、自律性と有能感の欲求の充足の程度と、国語・算数・理科・社会・英語・体育への興味を測定。無気力に影響を与える第二の要因として、家庭環境や友人関係の影響を検討。特に、家庭の社会経済的地位、家族や友人から

のソーシャルサポート、社会的スキル、関係性への欲求充足の程度を測定。分析の際の統制変数に用いるため、社会的望ましさと社会経済的地位を測定。

研究 3. 日常生活における無気力の生理心理学的検討

方法 成人参加者 4 名を対象として、携帯型端末を用いて 365 日にわたる調査を実施。調査項目は、脈拍および心拍変動と無気力に関する心理学的測度など。

研究 4. 短時間の軽運動が教室でのモチベーションに及ぼす効果

方法 3 分間のスローエアロビックによる身体活動を高める介入の効果を大学の授業場面で検討。対象は授業の受講生 149 名。9 回分の授業の中で、授業の導入前にスローエアロビックを行う回と、リラクセーション映像を視聴する回をランダムに設けてモチベーションを比較。授業内容への興味や、集中力(Mind wondering)などの認知的エンゲージメントと「積極的な気分だ」「やる気でいっぱいだ」という Vigor 気分や「疲れた」「ぐったりする」という Fatigue 気分などの感情的エンゲージメントを毎回の授業後に測定。

研究 5. 短時間の軽運動による日常生活における無気力の低減効果の検討

方法 大学生 90 名を対象として、介入群は 1 ヶ月間、週 3 回の就寝前のスローエアロビックを実施、統制群は、同じ頻度でリラクセーション映像を視聴。介入の前後および介入終了一ヶ月後に、持久力、認知課題のパフォーマンス、モチベーション、well-being を測定。また、毛髪コルチゾールからストレス状態を測定。さらに、介入中は就寝前にモチベーションと well-being を毎日調査し、2 群の違いを検討。

4. 研究成果

本研究は、多数の論文を専門誌に掲載し、十分な成果を得ている。既に公表されたものの中で特に大きな成果と考えられる4論文とその概要は次のとおりである。

- (1) 子どもを対象とした調査であっても家庭の社会経済的地位を簡便に測定できる家庭の所有物に関する3項目の尺度を新たに開発した(論文1)。
- (2) スペンス児童用不安尺度(SCAS)を基に開発された8項目の自己報告式尺度である短縮版児童用不安尺度(Short-CAS)の日本語版を作成した(論文2)。
- (3) 中学生の親子を対象とした調査から、親が「知能は努力によって変えることができる」という信念(増大的知能観)を持つほど、子どもも同様の信念を持ち、抑うつ傾向が低減するという関連性を明らかにした(論文3)。
- (4) 身体活動を高める短時間の介入の効果を、モチベーションへの影響に着目して、実際の授業場面で検討した。授業内容への興味や、集中力(Mind wondering)などの認知的エンゲージメントへの効果は見出せなかったが、Vigor気分が高まり、Fatigue気分が低減するという感情的エンゲージメントに対する有意な効果を見出した(論文4)。

引用論文

1. 石井 僚・村山 航・福住 紀明・石川 信一・大谷 和夫・榎 美知子・鈴木 高志・田中 あゆみ(2019) 家庭の所有物を用いた中学生用簡易版社会経済的地位代替指標の作成 心理学研究, 90(5), 493-502.
2. 石川 信一・石井 僚・福住 紀明・村山 航・大谷 和夫・榎 美知子・鈴木 高志・田中 あゆみ(2018) 短縮版児童用不安尺度(Short CAS)日本語版作成の試み-青年を対象とした信頼性と妥当性の検討- 不安症研究, 10(1), 64-73.
3. Ohtani, K., Murayama, K., Ishii, R., Fukuzumi, N., Sakaki, M., Ishikawa, S., Suzuki, T., & Tanaka, A. (2020). Parental motivational perseverance predicts adolescents' depressive symptoms: An intergenerational analysis with Actor-Partner Interdependence Model. *Journal of Youth and Adolescence*, 49(1), 212-227.
4. Tamura, A., Murayama, K., Sakaki, M., & Ishii, R. (2022). The effect of low-intensity exercise on emotional and cognitive engagement in the classroom. *npj Science of Learning*, 7, Article number: 9.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計66件（うち査読付論文 62件 / うち国際共著 17件 / うちオープンアクセス 35件）

1. 著者名 Tamura Ayame, Murayama Kou, Ishii Ryo, Sakaki Michiko, Tanaka Ayumi	4. 巻 7
2. 論文標題 The effect of low-intensity exercise on emotional and cognitive engagement in the classroom	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 npj Science of Learning	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41539-022-00125-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Jiang Juming, Tanaka Ayumi	4. 巻 42
2. 論文標題 Autonomy support from support staff in higher education and students' academic engagement and psychological well-being	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Educational Psychology	6. 最初と最後の頁 42 ~ 63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/01443410.2021.1982866	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Jiang Juming, Kusamoto Misaki, Tanaka Ayumi	4. 巻 9
2. 論文標題 Moderating Effects of Individual Differences in Causality Orientation on Relationships between Reward, Choice, and Intrinsic Motivation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontline Learning Research	6. 最初と最後の頁 69 ~ 95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14786/flr.v9i3.751	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Murayama Kou	4. 巻 129
2. 論文標題 A reward-learning framework of knowledge acquisition: An integrated account of curiosity, interest, and intrinsic/extrinsic rewards.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Psychological Review	6. 最初と最後の頁 175 ~ 198
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1037/rev0000349	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murayama Kou, Usami Satoshi, Sakaki Michiko	4. 巻 -
2. 論文標題 Summary-statistics-based power analysis: A new and practical method to determine sample size for mixed-effects modeling.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Psychological Methods	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1037/met0000330	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Flunger Barbara, Hollmann Lissa, Hornstra Lisette, Murayama Kou	4. 巻 77
2. 論文標題 It's more about a lesson than a domain: Lesson-specific autonomy support, motivation, and engagement in math and a second language	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Learning and Instruction	6. 最初と最後の頁 101500 ~ 101500
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.learninstruc.2021.101500	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 McNabb Carolyn Beth, Murayama Kou	4. 巻 2
2. 論文標題 Unnecessary reliance on multilevel modelling to analyse nested data in neuroscience: When a traditional summary-statistics approach suffices	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Current Research in Neurobiology	6. 最初と最後の頁 100024 ~ 100024
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.crneur.2021.100024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Schwerter Jakob, Dimpfl Thomas, Bleher Johannes, Murayama Kou	4. 巻 53
2. 論文標題 Benefits of additional online practice opportunities in higher education	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The Internet and Higher Education	6. 最初と最後の頁 100834 ~ 100834
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.iheduc.2021.100834	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Buechner Vanessa Laura, Stahn Veronika, & Murayama Kou	4. 巻 3
2. 論文標題 The power and affiliation component of achievement pride: Antecedents of achievement pride and effects on academic performance	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Education	6. 最初と最後の頁 3: 107~3: 107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/feduc.2018.00107	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 石井 僚・村山 航・福住 紀明・石川 信一・大谷 和太・榎 美知子・鈴木 高志・田中 あゆみ	4. 巻 90
2. 論文標題 家庭の所有物を用いた中学生用簡易版社会経済的地位代替指標の作成	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 心理学研究	6. 最初と最後の頁 493 ~ 502
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4992/jjpsy.90.18233	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murayama Kou, FitzGibbon Lily, & Sakaki Michiko	4. 巻 31
2. 論文標題 Process account of curiosity and interest: A reward-learning perspective	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Educational Psychology Review	6. 最初と最後の頁 875 ~ 895
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10648-019-09499-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sakaki Michiko, Raw Jasmine A. L., Findlay Jamie, & Thottam Mariel	4. 巻 5
2. 論文標題 Advanced aging enhances the positivity effect in memory: Due to cognitive control or age-related decline in emotional processing?	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Collabra: Psychology	6. 最初と最後の頁 49-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1525/collabra.222	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sakaki Michiko, Ueno Taiji, Ponzio Allison, Harley Carolyn W., & Mather Mara	4. 巻 187
2. 論文標題 Emotional arousal amplifies competitions across goal-relevant representation: A neurocomputational framework	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cognition	6. 最初と最後の頁 108 ~ 125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cognition.2019.02.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Usami Satoshi, Murayama Kou, & Hamaker Ellen L.	4. 巻 24
2. 論文標題 A unified framework of longitudinal models to examine reciprocal relations.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Psychological Methods	6. 最初と最後の頁 637 ~ 657
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1037/met0000210	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Usami Satoshi, Todo Naoya, & Murayama Kou	4. 巻 14
2. 論文標題 Modeling reciprocal effects in medical research: Critical discussion on the current practices and potential alternative models	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 0209133 ~ 0209133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0209133	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Vogl Elisabeth, Pekrun Reinhard, Murayama Kou, Loderer Kristina, Schubert Sandra	4. 巻 10
2. 論文標題 Surprise, curiosity, and confusion promote knowledge exploration: Evidence for robust effects of epistemic emotions	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	6. 最初と最後の頁 10:2474~10:2474
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2019.02474	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ishikawa Shin-ichi, Ishii Ryo, Fukuzumi Noriaki, Murayama Kou, Ohtani Kazuhiro, Sakaki Michiko, Suzuki Takashi, Tanaka Ayumi	4. 巻 10
2. 論文標題 Development, Reliability, and Validity of the Japanese Short Version of the Spence Children's Anxiety Scale for Adolescents	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Anxiety Disorder Research	6. 最初と最後の頁 64-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14389/jsad.10.1_64	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hudson Jennifer L., Murayama, Kou., Meteyard, Lotte., Morris Talia, Dodd, Helen F.	4. 巻 47
2. 論文標題 Early Childhood Predictors of Anxiety in Early Adolescence	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Abnormal Child Psychology	6. 最初と最後の頁 1121-1133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10802-018-0495-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ohtani Kazuhiro, Hisasaka Tetsuya	4. 巻 13
2. 論文標題 Beyond intelligence: a meta-analytic review of the relationship among metacognition, intelligence, and academic performance	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Metacognition and Learning	6. 最初と最後の頁 179-212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11409-018-9183-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohtani Kazuhiro, Okada Ryo	4. 巻 39
2. 論文標題 Relationship between classroom social goal structures, gender, and social outcomes in Japanese elementary school children	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 School Psychology International	6. 最初と最後の頁 435-453
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0143034318788120	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Burgess Laura G., Riddell Patricia M., Fancourt Amy, Murayama Kou	4. 巻 12
2. 論文標題 The Influence of Social Contagion Within Education: A Motivational Perspective	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Mind, Brain, and Education	6. 最初と最後の頁 164-174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/mbe.12178	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Usami Satoshi, Murayama Kou	4. 巻 53
2. 論文標題 Time-specific Errors in Growth Curve Modeling: Type-1 Error Inflation and a Possible Solution with Mixed-Effects Models	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Multivariate Behavioral Research	6. 最初と最後の頁 876-897
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/00273171.2018.1504273	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Scholer, A. A., Miele, D. B., Murayama, K., & Fujita, K.	4. 巻 27
2. 論文標題 New directions in self-regulation: the role of metamotivational beliefs.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Current Directions in Psychological Science	6. 最初と最後の頁 437-442
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0963721418790549	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Pearcey, S., Alkozei, A., Chakrabarti, B., Dodd, H., Murayama, K., Stuijzand, S. and Creswell, C.	4. 巻 229
2. 論文標題 Do clinically anxious children cluster according to their expression of factors that maintain child anxiety?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Affective Disorders	6. 最初と最後の頁 469-476
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jad.2017.12.078	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Elliot, A. J. Aldhobaiban, N., Murayama, K., Kobeisy, A., Gocłowska, M. A., & Khyat, A.	4. 巻 53
2. 論文標題 Impression management and achievement motivation: Investigating substantive links.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Psychology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ijop.12252	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 柿沼亨祐、田中あゆみ	4. 巻 9
2. 論文標題 接近-回避気質尺度 (ATQ) 日本語版の作成	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ソーシャル・モチベーション研究	6. 最初と最後の頁 34-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 江聚名、田中あゆみ	4. 巻 9
2. 論文標題 エージェンティック・エンゲージメント尺度日本語版 (AES-J) の作成	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ソーシャル・モチベーション研究	6. 最初と最後の頁 22-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakaki, M., Yagi, A. and Murayama, K.	4. 巻 88
2. 論文標題 Curiosity in old age: a possible key to achieving adaptive aging.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuroscience and Biobehavioral Reviews	6. 最初と最後の頁 106-116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neubiorev.2018.03.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Bell, L., Vogt, J., Willense, C., Routledge, T., Butler, L. T., & Sakaki, M.	4. 巻 -
2. 論文標題 Beyond self-report: A review of physiological and neuroscientific methods to investigate consumer behavior.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2018.01655	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Masuda, N., Sakaki, M., Ezaki, T., & Watanabe, T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Clustering coefficients for correlation networks	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroinformatics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fninf.2018.00007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Lee Tae-Ho, Greening Steven G., Ueno Taiji, Clewett David, Ponzio Allison, Sakaki Michiko, Mather Mara	4. 巻 2
2. 論文標題 Arousal increases neural gain via the locus coeruleus/noradrenaline system in younger adults but not in older adults	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Human Behaviour	6. 最初と最後の頁 356 ~ 366
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41562-018-0344-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ezaki, T., Sakaki, M., Watanabe, T., & Masuda, N.	4. 巻 39
2. 論文標題 Age-related changes in the ease of dynamical transitions in human brain activity.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Human Brain Mapping	6. 最初と最後の頁 2673-2688
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hbm.24033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Pearcey Samantha, Alkozei Anna, Chakrabarti Bhisadev, Dodd Helen, Murayama Kou, Stuijzand Suzannah, Creswell Cathy	4. 巻 229
2. 論文標題 Do clinically anxious children cluster according to their expression of factors that maintain child anxiety?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Affective Disorders	6. 最初と最後の頁 469 ~ 476
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jad.2017.12.078	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Sakaki Michiko, Yagi Ayano, Murayama Kou	4. 巻 88
2. 論文標題 Curiosity in old age: A possible key to achieving adaptive aging	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuroscience & Biobehavioral Reviews	6. 最初と最後の頁 106 ~ 116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neubiorev.2018.03.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Middlebrooks Catherine D., Murayama Kou, Castel Alan D.	4. 巻 43
2. 論文標題 Test expectancy and memory for important information.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Experimental Psychology: Learning, Memory & Cognition	6. 最初と最後の頁 972 ~ 985
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1037/xlm0000360	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Przybylski Andrew K., Weinstein Netta, Murayama Kou	4. 巻 174
2. 論文標題 Open Scientific Practices Are the Way Forward for Internet Gaming Disorder Research: Response to Yao et al.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 American Journal of Psychiatry	6. 最初と最後の頁 487 ~ 487
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1176/appi.ajp.2017.16121346r	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 柿沼亨祐・田中あゆみ	4. 巻 9
2. 論文標題 接近一回避気質尺度 (ATQ) 日本語版の作成	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ソーシャル・モチベーション研究	6. 最初と最後の頁 34 ~ 44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 江聚名・田中あゆみ	4. 巻 9
2. 論文標題 エージェンティック・エンゲージメント尺度日本語版 (AES-J) の作成	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ソーシャル・モチベーション研究	6. 最初と最後の頁 22 ~ 33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Castel Alan D., Friedman Michael C., McGillivray Shannon, Flores Cynthia C., Murayama Kou, Kerr Tyson, Drolet Aimee	4. 巻 23
2. 論文標題 I owe you: age-related similarities and differences in associative memory for gains and losses	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Aging, Neuropsychology, and Cognition	6. 最初と最後の頁 549 ~ 565
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13825585.2015.1130214	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 千島 雄太、村上 達也	4. 巻 27
2. 論文標題 “キャラ”に関する研究の今後の展開	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 青年心理学研究	6. 最初と最後の頁 182 ~ 185
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20688/jsyap.27.2_182	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 千島 雄太、村上 達也	4. 巻 64
2. 論文標題 友人関係における“キャラ”の受け止め方と心理的適応	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 教育心理学研究	6. 最初と最後の頁 1~12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5926/jjep.64.1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Elliot Andrew J., Aldhobaiban Nawal, Kobeisy Ahmed, Murayama Kou, Goc?owska Ma?gorzata A., Lichtenfeld Stephanie, Khayat Aber	4. 巻 50
2. 論文標題 Linking social interdependence preferences to achievement goal adoption	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Learning and Individual Differences	6. 最初と最後の頁 291~295
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.lindif.2016.08.020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤原健志・村上達也・西谷(鈴木)美紀・櫻井茂	4. 巻 53
2. 論文標題 児童用援助要請行動尺度の作成	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 教育相談研究	6. 最初と最後の頁 1~12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Goetz Thomas, Sticca Fabio, Pekrun Reinhard, Murayama Kou, Elliot Andrew J.	4. 巻 41
2. 論文標題 Intraindividual relations between achievement goals and discrete achievement emotions: An experience sampling approach	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Learning and Instruction	6. 最初と最後の頁 115~125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.learninstruc.2015.10.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 市川 玲子、村上 達也	4. 巻 25
2. 論文標題 パーソナリティ障害傾向とアタッチメント・スタイルとの関連	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 パーソナリティ研究	6. 最初と最後の頁 112 ~ 122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2132/personality.25.112	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ikeda Kenji, Yue Carole L., Murayama Kou, Castel Alan D.	4. 巻 2
2. 論文標題 Achievement goals affect metacognitive judgments.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Motivation Science	6. 最初と最後の頁 199 ~ 219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1037/mot0000047	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸田広平・石川信一	4. 巻 9
2. 論文標題 青年期における推論の誤りの因子構造および抑うつ症状と不安症状との関連の検討	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 行動医学研究	6. 最初と最後の頁 2 ~ 11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸田 広平、石川 信一	4. 巻 8
2. 論文標題 中学生の抑うつと不安に対する社会的スキルの横断的および縦断的影響の検討	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 不安症研究	6. 最初と最後の頁 2 ~ 11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14389/jsad.8.1_2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古村 健太郎、村上 達也、戸田 弘二	4. 巻 87
2. 論文標題 アダルト・アタッチメント・スタイル尺度 (ECR-RS) 日本語版の妥当性評価	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 心理学研究	6. 最初と最後の頁 303 ~ 313
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4992/jjpsy.87.15208	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuhbandner Christof, Aslan Alp, Emmerdinger Kathrin, Murayama Kou	4. 巻 7
2. 論文標題 Providing Extrinsic Reward for Test Performance Undermines Long-Term Memory Acquisition	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	6. 最初と最後の頁 1 ~ 12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.00079	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Marsh Herbert W., Pekrun Reinhard, Lichtenfeld Stephanie, Guo Jiesi, Arens A. Katrin, Murayama Kou	4. 巻 52
2. 論文標題 Breaking the double-edged sword of effort/trying hard: Developmental equilibrium and longitudinal relations among effort, achievement, and academic self-concept.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Developmental Psychology	6. 最初と最後の頁 1273 ~ 1290
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1037/dev0000146	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Middlebrooks Catherine D., McGillivray Shannon, Murayama Kou, Castel Alan D.	4. 巻 71
2. 論文標題 Memory for Allergies and Health Foods: How Younger and Older Adults Strategically Remember Critical Health Information	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 The Journals of Gerontology Series B: Psychological Sciences and Social Sciences	6. 最初と最後の頁 389 ~ 399
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/geronb/gbv032	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Middlebrooks Catherine D., Murayama Kou, Castel Alan D.	4. 巻 170
2. 論文標題 The value in rushing: Memory and selectivity when short on time	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Acta Psychologica	6. 最初と最後の頁 1~9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.actpsy.2016.06.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上達也・西村多久磨・櫻井茂男	4. 巻 64
2. 論文標題 家族, 友達, 見知らぬ人に対する向社会的行動 対象別向社会的行動尺度の作成	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 教育心理学研究	6. 最初と最後の頁 156~169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上達也・西村多久磨	4. 巻 5
2. 論文標題 児童の学級生活満足度と規範行動との関連	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 学級経営心理学研究	6. 最初と最後の頁 29~38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murayama Kou, Blake Adam B., Kerr Tyson, Castel Alan D.	4. 巻 42
2. 論文標題 When enough is not enough: Information overload and metacognitive decisions to stop studying information.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Experimental Psychology: Learning, Memory, and Cognition	6. 最初と最後の頁 914~924
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1037/xlm0000213	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murayama Kou, Kitagami Shinji, Tanaka Ayumi, Raw Jasmine A. L.	4. 巻 2
2. 論文標題 People ' s naivet? about how extrinsic rewards influence intrinsic motivation.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Motivation Science	6. 最初と最後の頁 138 ~ 142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1037/mot0000040	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murayama Kou, Pekrun Reinhard, Suzuki Masayuki, Marsh Herbert W., Lichtenfeld Stephanie	4. 巻 111
2. 論文標題 Don ' t aim too high for your kids: Parental overaspiration undermines students ' learning in mathematics.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Personality and Social Psychology	6. 最初と最後の頁 766 ~ 779
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1037/pspp0000079	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中西 陽、石川 信一、神尾 陽子	4. 巻 64
2. 論文標題 自閉スペクトラム症的特性の高い中学生に対する通常学級での社会的スキル訓練の効果	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 教育心理学研究	6. 最初と最後の頁 544 ~ 554
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5926/jjep.64.544	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中尾達馬・村上達也	4. 巻 27
2. 論文標題 児童期中期におけるアタッチメントの安定性を測定する試み カーンズ・セキュリティ・スケール (KSS) の日本語版作成	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 発達心理学研究	6. 最初と最後の頁 72 ~ 82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西村多久磨・村上達也	4. 巻 5
2. 論文標題 教師の孤独児に対する認識と児童の主観的な孤独感との相違	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 学級経営心理学会	6. 最初と最後の頁 19～28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大谷 和太、岡田 涼、中谷 素之、伊藤 崇達	4. 巻 64
2. 論文標題 学級における社会的目標構造と学習動機づけの関連	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 教育心理学研究	6. 最初と最後の頁 477～491
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5926/jjep.64.477	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 櫻井茂男・村上達也	4. 巻 58
2. 論文標題 共感性と社会的行動の関係について 溝川・子安論文へのコメント	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 心理学評論	6. 最初と最後の頁 372-378
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sugiura Ayaka, Aoki Ryuta, Murayama Kou, Yomogida Yukihito, Haji Tomoki, Saito Atsuko, Hasegawa Toshikazu, Matsumoto Kenji	4. 巻 27
2. 論文標題 Regional gray matter volume in the posterior precuneus is associated with general self-efficacy	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 NeuroReport	6. 最初と最後の頁 1350～1353
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.0000000000000702	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ueno Taiji, Fastrich Greta M., Murayama Kou	4. 巻 145
2. 論文標題 Meta-analysis to integrate effect sizes within an article: Possible misuse and Type I error inflation.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Experimental Psychology: General	6. 最初と最後の頁 643 ~ 654
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1037/xge0000159	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamagata B., Murayama K., Black J. M., Hancock R., Mimura M., Yang T. T., Reiss A. L., Hoefft F.	4. 巻 36
2. 論文標題 Female-Specific Intergenerational Transmission Patterns of the Human Corticolimbic Circuitry	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1254 ~ 1260
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.4974-14.2016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計23件 (うち招待講演 2件 / うち国際学会 15件)

1. 発表者名 Corwin-Renner, Nakazato, Ohtani, Ishii, Fukuzumi, Sakaki, Ishikawa, Suzuki, Murayama, & Tanaka
2. 発表標題 Children's Study Habits Are Predicted by Their Parents' Learning Strategy Preferences
3. 学会等名 Annual Meeting of American Educational Research Association (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Tamura, A., Ishii, R., Yagi, A., Fukuzumi, N., Hatano, A., Sakaki, M., Tanaka, A., & Murayama, K.
2. 発表標題 Exploring the within-person contemporaneous network of motivational engagement.
3. 学会等名 Society for Ambulatory Assessment Conference 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tanaka, A
2. 発表標題 Psychology of motivation and Hikikomori: The self-determination perspective.
3. 学会等名 Online Symposium of The International Hikikomori Research Consortium (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tamura, A., Ishii, R., Yagi, A., Fukuzumi, N., Hatano, A., Sakaki, M., Tanaka, A., & Murayama, K.
2. 発表標題 Exploring the within-person structure of motivation and emotion
3. 学会等名 18th Biennial Conference of the European Association for Research on Learning and Instruction (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田村彩女・石井 僚・八木 彩乃・福住 紀明・波多野 文・榊 美知子・田中 あゆみ・村山 航
2. 発表標題 動機づけと感情に関する個人内構造の検討
3. 学会等名 日本心理学会第83回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ohtani, K., Ishii, R., Fukuzumi, N., Murayama, K., Suzuki, T., Ishikawa, S., Sakaki, M., & Tanaka, A.
2. 発表標題 Motivational perseverance between parents and children: theory of intelligence and grit
3. 学会等名 Poster presented at the 16th International Congress on Motivation (ICM 2018), Aarhus, Denmark. (国際学会)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Ishii, R., Fukuzumi, N., Murayama, K., Ohtani, K., Suzuki, T., Ishikawa, S., Sakaki, M., & Tanaka, A.
2 . 発表標題 Parental influence of avoidance personal goal pursuit
3 . 学会等名 Poster presented at the 16th International Congress on Motivation (ICM 2018), Aarhus, Denmark. (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Sakaki, M.
2 . 発表標題 How emotional arousal interacts with top-down goal in affecting memory.
3 . 学会等名 Paper presented in the symposium "Current research and emerging directions in emotional memory: Evidence from healthy functioning, psychopathology, and interventions (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Turkileri, N., Ozsari, A., Field, D., & Sakaki, M.
2 . 発表標題 Effects of emotional arousal on ambiguous motion perception.
3 . 学会等名 The 4th International Conference of the European Society for Cognitive and Affective Neuroscience, Leiden, Netherland (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Sakaki, M., Ponzio, A., Ueno, T., Harley, C. & Mather, M.
2 . 発表標題 Mechanisms underlying the opposing effects of emotional arousal on memory
3 . 学会等名 A neurocomputational framework. The Consortium of European Research on Emotion, Glasgow, UK. (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 石井 僚・村山 航・福住 紀明・石川 信一・大谷 和大・榊 美知子・鈴木 高志・田中 あゆみ
2. 発表標題 中学生の運動習慣が友人ストレスと抑うつに関連に及ぼす影響 1年間の縦断調査による検討
3. 学会等名 日本心理学会第82回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石井 僚・村山 航・福住 紀明・石川 信一・大谷 和大・榊 美知子・鈴木 高志・田中 あゆみ
2. 発表標題 中学生の学業ストレスと抑うつに関連に対する運動習慣の調整効果
3. 学会等名 日本教育心理学会第60回総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ishii, R., Fukuzumi, N., Ishikawa, S., Murakami, T., Murayama, K., Ohtani, K., Sakaki, M., Suzuki, T., & Tanaka, A.
2. 発表標題 How similar is early adolescents' time perspective compared to their parents'?
3. 学会等名 American Educational Research Association Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ishii, R., Fukuzumi, N., Ishikawa, S., Murakami, T., Murayama, K., Ohtani, K., Sakaki, M., Suzuki, T., & Tanaka, A.
2. 発表標題 Parental influence of avoidance personal goal pursuit.
3. 学会等名 the 16th International Congress on Motivation (ICM 2018), Aarhus, Netherlands (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ohtani, K., Ishii, R., Fukuzumi, N., Murayama, K., Suzuki, T., Ishikawa, S., Sakaki, M., & Tanaka, A.
2. 発表標題 Motivational perseverance between parents and children: theory of intelligence and grit
3. 学会等名 the 16th International Congress on Motivation (ICM 2018), Aarhus, Netherlands. (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ishii, R., Fukuzumi, N., Ishikawa, S., Murakami, T., Murayama, K., Ohtani, K., Sakaki, M., Suzuki, T., & Tanaka, A.
2. 発表標題 How similar is early adolescents' time perspective compared to their parents'?
3. 学会等名 2018 American Educational Research Association Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ishii, R., Fukuzumi, N., Ishikawa, S., Murakami, T., Murayama, K., Ohtani, K., Sakaki, M., Suzuki, T., Tanaka, A.
2. 発表標題 Does time perspective predict anxiety symptoms of junior high school students?
3. 学会等名 3rd International Congress of Clinical and Health Psychology on Children and Adolescents (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 石井 僚・村山 航・福住 紀明・石川 信一・村上 達也・大谷 和夫・榎 美知子・鈴木 高志・田中 あゆみ
2. 発表標題 親子の時間的展望はどの程度類似するのか 中学生とその親を対象とした横断的検討
3. 学会等名 日本教育心理学会第59回総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福住 紀明・村山 航・石井 僚・石川 信一・村上 達也・大谷 和大・榊 美知子・鈴木 高志・田中 あゆみ
2. 発表標題 親による子どもの動機づけの質の認知の正確さについて
3. 学会等名 日本教育心理学会第59回総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 石井 僚・福住 紀明・石川 信一・村上 達也・村山 航・大谷 和大・榊 美知子・鈴木 高志・田中 あゆみ
2. 発表標題 中学生の時間的展望と抑うつとの関係
3. 学会等名 日本心理学会第81回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ohtani, K., & Hisasaka, T.
2. 発表標題 The Relationship between metacognition and learning performance
3. 学会等名 the 15th European Congress of Psychology (ECP 2017), Amsterdam, Netherlands (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Murayama, K.
2. 発表標題 Curiosity as a complementary reward for extrinsic incentives and metamotivational belief.
3. 学会等名 the International Conference on Motivation, Aarhus, Denmark. (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Murayama, K.
2. 発表標題 Interest as a complementary reward for extrinsic incentives
3. 学会等名 the Hong-Kong Cognitive Science Meeting (招待講演)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 宮崎隆志, 松本伊智朗, 白水浩信 (編) 大谷和大 (著)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 200
3. 書名 ともに生きるための教育学へのレッスン40 (pp.84-87, やる気を理解すること)	

1. 著者名 A. Renninger & S. Hidi (Eds.), Murayama, K.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Cambridge University Press	5. 総ページ数 804
3. 書名 The Cambridge handbook on motivation and learning (pp.141-162, Neuroscientific and psychological approaches to incentives: Commonality and multi-faceted views).	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	村山 航 (Murayama Kou) (10748726)	高知工科大学・総合研究所・客員教授 (26402)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	大谷 和太 (Ohtani Kazuhiro) (20609680)	北海道大学・教育学研究院・助教 (10101)	
研究分担者	榊 美知子 (Sakaki Michiko) (50748671)	高知工科大学・総合研究所・客員准教授 (26402)	
研究分担者	石井 僚 (Ishii Ryo) (50804572)	奈良教育大学・学校教育講座・特任准教授 (14601)	
研究分担者	福住 紀明 (Fukuzumi Noriaki) (80801878)	高知大学・教育研究部人文社会科学系教育学部門・講師 (16401)	
研究分担者	石川 信一 (Ishikawa Shin-ichi) (90404392)	同志社大学・心理学部・教授 (34310)	
研究分担者	鈴木 高志 (Suzuki Takashi) (90725938)	高知工科大学・共通教育教室・准教授 (26402)	
研究分担者	村上 達也 (Murakami Tatsuya) (00743791)	高知工科大学・共通教育教室・講師 (26402)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
オーストラリア	Australian Catholic University			
ドイツ	University of Munich			
米国	University of California	University of Los Angeles	University of Rochester	
英国	University of Oxford	University of Cardiff	University of York	
オーストラリア	Australian Catholic University			
ドイツ	University of Munich	University of Tuebingen		
米国	University of California	University of Los Angeles	University of Rochester	
英国	University of Oxford	University of Cardiff	University of York	
オーストラリア	Australian Catholic University			
ドイツ	University of Munich	University of Tuebingen		
米国	University of California	University of Los Angeles	University of Rochester	
英国	University of Oxford	University of Cardiff	University of York	
オーストラリア	Australian Catholic University			
ドイツ	University of Munich	University of Tuebingen		
アメリカ	University of California	University of Los Angeles	University of Rochester	
イギリス	University of Oxford	University of Cardiff	University of York	